

進路だより

発行：平成28年1月15日

1 BATON ~卒業生による進路だより~

今回の BATON はセンター試験直前号です。初めての大学入試センター試験に臨むみなさんへ、経験者である1回生のみなさんからの心のこもったメッセージです。ぜひ参考にしてください。



いよいよ明日はセンター試験ですね。今から緊張している人も少なくないはずですが。そんな皆さんに、一年間BATONを発行してきた1回生から応援メッセージを送ります。これを読んで準備バッチリで明日の本番に臨んでもらえれば、と思います

田内 萌絵より

2回生の皆さん、いよいよセンター試験ですね。センター試験会場での注意事項や持ち物などは散々言われていると思うので、今回は私のセンター試験談を一つ、書きます。直前に試験を控えた皆さんに言うのもなんですが、1日目の国語の試験で、緊張のためか演習通りの時間配分で解けず、最後に残した古文をほとんどあてずっぽうで解いてしまい(国語の先生ごめんなさい)、“しまった”、と背筋が凍りました。1点でも多く巻き返さなければと思い、焦る一方でしたが、休憩時間に友人と最終確認をしたりして緊張が解け、ここまで頑張ったし、やってやるぞ!という前向きな気持ちになりました。

そんなセンター試験がおわり、二次試験を受け、いざ得点开示してみると、最低点ギリギリでの合格だったことがわかりました。もしもあの時、「失敗してしまった」ことを引きずって後の試験に影響してしまっていたら…と考えると本当に恐ろしいです。受験は団体戦、というのは本当です。友達を励まし、友達に励まされてください。2回生として最後の、最大の団体戦です。終わった試験のことは考えずに、リラックスして次へ、次へと頭を切り替えよう。その一点が、あなたを絶対に救います。応援しています。

小黑 雄介より

以下の6点のことを心がけて欲しいです！

👉 問題は解けるようにできている！

センター試験に出題されるどの問題も、ちゃんと解けるようにできています。散々言われてきていると思いますが、地理の統計データを用いた問題では中国やアメリカばかりを見て考えない、数学の図形問題では条件の二等辺三角形などを見落とさない……。問題を解くための鍵は必要以上書かれていることもないですし、反対に必要最低限は絶対書かれています。分からなくなったら、まずは落ち着いて問題をじっくり読みましょう！

👉 今の時点ではみんなの点、スタートラインは全員同じ

模試で何回もA判定を取っている人も、逆にE判定しかとったこともない人も、今の時点ではみんなの点です（推薦など一部は別なところもあるとは思いますが……）。今の段階で引け目を感じる必要なんてありません！

👉 自分が難しい問題に苦しんでいるとき、同じくセンター試験を受けている受験生はみんな苦しんでいる

どんなにいい判定を出したことがある人でも、所詮は同学年か、少なくとも同世代の人間です。みんな緊張しています。むしろ浪人生の方が緊張しているはず（こんなことを浪人生のいる1回生の一人が言うのもあまりよくありませんが……）。だから、自分に難しく思える問題は、一緒に受けている全国約56万人にとっても難しく思っています。分からないことをズルズル引きずらず、一問一問落ち着いてやることだけを考えましょう！

👉 万全の準備が自分を成功に導く

準備不足は焦りを生みます。今この時点から自分のできる最高の準備を心がけましょう。試験時間は始まっていませんが、試験時間を良いものにできるかどうかの準備は、既に始まっています。

👉 「自分はできる」と言い聞かせて、思い込む 「自分=YDK」

今日の今からの勉強は、新しいことをやろうとはせず、今まで自分ががんばってきたものをもう一度見直すなどして、自分を「よくがんばった」と誉めるような時間にしてください。そして、「これだけやったのだから、自分はできる」のだと言い聞かせ、思い込みましょう。その自信が、本番で難しい問題を見つけても、「自分にとって難しいから、他の人にとっても難しいはずだ」という落ち着きを生みます。

👉 センター後のことは、文字通りセンター後に考えればよい

センター試験の結果によって出願する学校をどうするか考えますが、試験中は「何点だったら志望校を変えないといけない」などという邪念は捨てましょう。そんなことを考えていると、どんどん焦り出してしまいます。まずは落ち着くことです。

色々と書きましたが、最後にみなさんに勇気を与えられるようなことを。僕の去年の国語で、目標点より30点近く低い点数を取ってしまいました。それでも他でがんばって、志望校に合格しました。大切なことは、最後まであきらめないことです。悔いなくやりきってください！

がんばれ、2回生！！